平成26年度 淡海生涯カレッジ 大津校 受講生 募集中！！

淡海生涯カレッジとは・・・

地域の中に存在する多様な学習機関の連携を深め、公民館等での学習（問題発見講座）から、高等学校等での体験的な学習（実験・実習講座）、さらに大学等での専門的な学習（理論学習講座）を組み合わせたシステムです。地域の学習機関それぞれの特色を生かしながら、継続的・段階的な学習機会を提供することで、みなさんの学習と社会参加を応援していきます。

学習テーマ

かんきょうびと
環境人になろう ～自然との共生、暮らしを考えよう～

【定員：30名程度】
＜プログラム＞

(1) 問題発見講座

会場：大津市立逢坂公民館ほか ※開講式は、大津市役所にて実施

回	月 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月14日(土)	9:00～ 12:30	開講式 講演『びわ湖の森はトチの森』 ～巨木トチノキから学ぶ～	巨木と水源の郷を守る会 顧問 青木 繁
2	6月28日(土)	9:30～ 12:00	「吾妻川の愛護活動と草木染体験」 地域住民の河川愛護活動と伝統の草木染を学ぶ。	逢坂の川を愛する会 会長 田中 博 藤三郎組 四代目 太田 耕吉
3	7月 5日(土)	10:00～ 12:00	「地域社会に貢献する古紙再生工場見学」 製紙工場を見学し環境への取り組みや古紙再生の必要性とごみ減量について考える。	大津板紙株式会社取締役 工場長 増田 季睦 大津市環境部職員
4	7月12日(土)	9:00～ 16:00	「外来魚対策から地域おこしへ」 琵琶湖沖島で環境保全と地域活性化に取り組む沖島漁業組合の活動を通じて琵琶湖の生態系について学ぶ。	沖島漁業協同組合 組合長 森田 正行 近江八幡ボランティアガイド

(2) 実験・実習講座

会場：滋賀県立膳所高等学校

回	月 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	8月 2日(土)	9:30～ 12:00	『ヨシノボリ類の分類と由来』 顕微鏡を用いて、実験実習を行う。	滋賀県立膳所高等学校 元教員 芳賀 彦一 教員 真鍋 健 教員 奥村 千歳
2	8月23日(土)	9:30～ 12:00	『ケイソウ化石から探るかつての琵琶湖の姿』 古琵琶湖層群中のケイソウ化石を顕微鏡で観察することで、琵琶湖の古環境の復元を試みる。	滋賀県立膳所高等学校 教員 荒川 忠彦
3	8月30日(土)	9:30～ 12:00	『大気汚染物質を調べてみよう』 酸性雨や光化学スモッグの原因となる窒素酸化物(NOx)は何から生じるのか。簡単な実験を通して調べる。	滋賀県立膳所高等学校 教員 池下 克美
4	9月 6日(土)	9:30～ 12:00	『牛乳パックや反古紙で書作品をつくろう』 牛乳パックや書道の反古紙を、再利用して紙漉きを行い、できた紙に好きな文字や詩歌を書いて小作品をつくる。	滋賀県立膳所高等学校 教員 藤居 孝弘

(3) 理論学習講座（草津校と合同）

会場：滋賀大学教育学部

『①土曜特設講座』か『②平日正規の講義』のどちらかを選んでいただきます。また、②の平日正規の講義を選ばれる方は、滋賀大学への手続きと別途受講料が必要です。講義は、滋賀大学の学生とともに受講していただきます。

なお、大津校の理論学習講座は草津校と合同で実施します。

① **土曜特設講座** このカレッジのために滋賀大学に特設される講義です。講義と少人数のグループ学習を行います。

回	月 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	10月 4日(土)	13:30~ 15:00	滋賀の食とその伝承に向けた取り組み	滋賀大学教授 久保 加織
2	10月11日(土)		琵琶湖淀川川くだり	滋賀大学教授 三田村 緒佐武
3	10月18日(土)		環境教育・環境学習って何だろう	滋賀大学教授 市川 智史
4	11月 1日(土)		生涯学習と地域づくり	滋賀大学准教授 横山 幸司
5	11月15日(土)		自然環境と科学技術の二面性 (災害と恩恵)	滋賀大学教授 藤岡 達也
6	11月29日(土)		農業から見た環境保全と食の安心・安全・安定	滋賀大学講師 森 太郎
7	12月 7日(日)		地域外の人間の環境保全への関与のあり方について	滋賀大学准教授 神崎 宣次
8	12月13日(土)		びわ湖に生息する生物のつながり 一湖沼生態系とは一	滋賀大学准教授 石川 俊之
9	12月20日(土)		琵琶湖と森林：持続可能な水源林管理による湖の保全	滋賀大学准教授 田中 勝也
10	1月31日(土)	13:30~ 16:00	グループ発表会	講師全員

② **平日正規の講義** 滋賀大学の学生とともに受ける講義（琵琶湖学特論）です。

回	月 日	時 間	テ ー マ	講 師	
1	10月 1日(水)	10:30~ 12:00	びわ湖の自然、社会、生活などについて、専門的な立場から講義するとともに、個々にかかえている問題点を議論する。このような講義や議論をふまえて、びわ湖に関する環境問題の実態を明らかにし、その解決策を探るとともに、広く水環境についての洞察力を深めていく。	滋賀大学教授 三田村 緒佐武	
2	10月 8日(水)				
3	10月15日(水)				
4	10月22日(水)				
5	10月29日(水)				
6	11月19日(水)				
7	11月26日(水)				
8	12月 3日(水)				
9	12月10日(水)				
10	12月17日(水)				滋賀大学准教授 石川 俊之
11	1月 4日(日)	9:30~ 17:00 滋賀県立琵琶湖博物館	滋賀県立琵琶湖博物館を見学し、琵琶湖の「魅せかた」の実例を学び学校教育や生涯教育への活かし方を考える。		
12	1月 4日(日)				
13	1月 4日(日)				
14	1月 4日(日)				

修了の認定

- (1) 問題発見講座と実験・実習講座でそれぞれ3回以上出席された方
  - (2) 理論学習講座の土曜特設講義で6回以上、または平日正規の講義で6回以上出席された方
- 上の(1)(2)を満たし、選択講座の回数も含めた全出席回数が13回以上の出席の方には、淡海生涯カレッジの修了証書をお渡しします。

選択講座について

淡海生涯カレッジの受講生が、県や市等で実施している講座(大津校の実行委員会で認めたもの)を受講された場合、その回数は修了に必要な出席数の一部として認められます。ただし、問題発見講座、実験・実習講座、理論学習講座それぞれ固有の必要回数はクリアしていただく必要があります。

※ 選択講座については、期間中に大津校実行委員会より別途案内させていただきます。

お申し込み上のご注意

- (1) 募集対象
18歳以上の通学可能な方。
- (2) 定員について
定員を超えたときは、抽選で受講者を決定させていただきます。(但し、初めて受講される方を優先させていただきます。)なお、受講は一校に限ります。(他校との重複申込みはできません。)
- (3) 受講料
5,000円 (教材費・入場料・材料費等が別途必要です。)
<大学の正規の講義を受講される方は、大学の規定による受講料が別途必要です。>
※一旦申込みをされた受講料は、いかなる場合があっても返金できませんのでご了承ください。
- (4) 応募方法
受講を希望する方は、はがき・FAX・Eメールに必要事項(氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号)をご記入の上、淡海生涯カレッジ大津校実行委員会(大津市教育委員会生涯学習課内)までお申し込みください。電話での申し込みも可能です。
※電話の受付時間は、平日(月～金)8時40分～17時25分です。
- (5) 募集期間 **平成26年5月7日(水)～5月30日(金) (必着)**
- (6) その他
講座開催日の午前7時30分の時点において県下に暴風警報が発令された(または、発令中の)場合は、休講とさせていただきます。(振替え講座は行いません。)

問い合わせ・申し込み先

淡海生涯カレッジ大津校実行委員会

〒520-8575 大津市御陵町3番1号

TEL: 077-528-2635

E-mail: otsu2403@city.otsu.lg.jp

大津市教育委員会生涯学習課内

FAX: 077-523-5735

淡海生涯カレッジ大津校実行委員会(生涯学習課内)あて

平成26年 月 日

淡海生涯カレッジ大津校受講申込書

ふりがな 氏名	( ) 歳
〒 住所	
電話番号	